

# 水産資源委託調査

沢田 兼造・佐藤 直三・本間 千春

## 発表誌名

昭和57年度、沿岸重要資源委託調査結果報告書

## 抄 録

### 1. 漁 況

#### (1) 沿岸重要魚種漁獲量（県統計）

本年1月から10月までの沿岸重要魚種の県総漁獲量は372,006.4トン、昨年同期（328,630トン）の88.3%であった。

#### (2) マイワシ

本年1月から10月までの漁獲量は304,524トンで、昨年同期（189,824トン）の1.6倍であった。

#### (3) ウルメイワシ

昭和36年をピークとして漸減状態にあり、昨年同様皆無であった。

#### (4) カタクチイワシ

本年1月から10月までの漁獲量は138トンで、昨年同期（14.2トン）の9.7倍であった。

#### (5) マアジ

本年1月から10月までの漁獲量は10.1トンで昨年同期（5トン）の2倍であった。

#### (6) スルメイカ

本年1月から10月までの漁獲量は47,583トンで、昨年同期（38,211トン）の1.2倍であった。

#### (7) マサバ

本年1月から10月までの漁獲量は20,074トンで、昨年同期（100,518トン）の20%であった。

### 2. 魚 体 調 査

#### (1) マイワシ（後潟）

a 体 長 11.5～22.0cmの範囲にし分布しモードは11月の16.0cmが最大で、5月の11.5cmが最小。

b 体 重 15～95gの範囲に分布。

c 肥満度 7.0～15.5の範囲に分布。

d 生殖腺重量 5月から11月までは平均0.1g以下の個体が出現し、最高は8月4日の雌の0.47gであった。

e 年 齢 5月から6月までは2～3才魚、7月から1才魚の出現が多くなった。

(2) カタクチイワシ(後潟)

- a 体 長 5.5～12.0cmの範囲に分布しモードは12月の11.0cmが最大で、10月の5.5cmが最小。
- b 体 重 2～12gの範囲に分布。
- c 肥満度 5.5～11.5の範囲に分布。
- d 年 齢 10月～12月の調査ではすべて1才魚であった。

(3) マアジ(後潟)

- a 尾叉長 8～11cmの範囲に分布し、モードは10cmであった。(9月22日1回だけの調査であった。)
- b 体 重 12～20gの範囲に分布。
- c 肥満度 9.0～14.5の範囲に分布。
- d 年 齢 若齢魚で不明。

(4) マサバ(後潟)

- a 尾叉長 14～23cmの範囲に分布し、モードは21cmにあった。
- b 体 重 30～90gの範囲に分布。
- c 生殖腺 若齢魚で雌雄不明の個体だけであった。生殖腺重量についても若齢魚で不明であった。

(5) スルメイカ(後潟)

本年は魚体調査するほどまとまった漁がなかった。